



しらみね物語 NO.19

令和2年 2月 12日



<6年生からの引継ぎ>

暖冬で雪も少なく、子ども達が楽しみにしている体育のスキー授業ができずにいます。大雪だと大変なこともあります。これほど少ないと白峰ならではの活動ができず、とても残念に思っています。それでも、西山のクロスカントリー場には積雪があり、4年生以上のクラブ活動が実施できました。

中止が決まった雪だるま祭りですが、学校では5年生を中心に縦割り活動を実施する予定です。また、2月26日には「6年生を送る会」も予定されています。5年生には最高学年、1～4年生にはひとつ学年が上がる自覚をもって取り組んでほしいと思います。6年生には自分たちの姿で「よりよい白峰小学校」の在り方を示してもらいたいと思っています。



成長した自分 (1月29日全校朝会での校長講話より)

1月に身体測定がありました。皆さんの身長はどれくらい伸びましたか？人によって差がありますが、なんと7cmも伸びた人もいます。6年生はどうでしょう？小学校に入学してから40cmも身長が伸びた人がいるんです。大人になると、身長は伸びません。小学生の成長はすごいですね。体の成長で、できることも増えたことでしょう。重いものが運べるようになったり、足が速くなったり、スキーの技が上達したり、水泳の記録が伸びたり…。できることが増えた自分を、うれしく感じていると思います。

12月に、校長先生はある学校の研究授業を見に行きました。6年生が「将来の夢」について話し合っていました。その授業の最初に、「6年間でできるようになったこと」を発表していました。「我慢ができるようになった」「感情のコントロールができるようになった」「考えてから話すようになった」「計画的に物事を進められるようになった」。校長先生は驚きました。なぜなら、ほとんどが「心のこと」だったからです。さて、皆さんはどうでしょうか？

一学期の初めに、皆さんは一人ひとり目標を立てました。こんな学校にしたい、こんなクラスにしたい、こんな自分にしたい。素晴らしい目標がたくさんありました。いくつか紹介しましょう。

「しっかり聞く、はっきり話す」「正しいと思うことを堂々と実行する」「相手の気持ちに立って行動する」「自分の考えを持つ」。そして6年生。「感謝の心を持ち、人にやさしくする」「粘り強く取り組む」「自分で考えて行動する」。

さあ、皆さんの心は成長したでしょうか？心が成長して、できるようになったこと、がんばったことがたくさんあると思います。心もこんなふうにグ〜ンと成長していると思います。まずは、自分で考えて、そしてクラスで認め合って、三学期の最後の日を迎えられるといいですね。2月中に、<私の成長>というタイトルで、皆さんに短作文を書いてもらいます。

3月の全校朝会では、短作文を紹介しようと思っています。



<2月のめあて>

学習目標：姿勢 両足の裏を床につけよう *『足うらピタン』の取り組み

授業中、椅子に座っているときに背骨が曲がっていると、頭が痛くなったり、しっかり考えることができなくなったりします。

2月3日（月）～7日（金）は強化週間として毎時間ふり返りを行った結果、よい姿勢を意識できる児童が増えてきました。今後も、習慣化を図っていきます。

生活目標：一人ひとりのよさを見つけよう

「友だちのよいところを見つけたら、よい言葉をかけられる子」

「失敗しても責めることなく、あたたかい言葉をかけられる子」がめざす姿です。学校全体では、ふわふわ言葉も増えてきました。

今月は、なかま委員会の児童にも放送で呼びかけてもらい、全校でよさを見つけ、認め合う取り組みをすすめます。また、見つけたよさを『きらきらえがお』カードに書いて掲示する取り組みも進めています。



【きらきらえがおカード】

～カードの書き込みより～

学習目標の『足うらピタン』をみんなに注意して、姿勢がいいときはほめていました。

理科の授業で、手際よく実験を進めていたのすごいと思いました。

そうじの時に、いつも上級生らしい声かけをしてくれます。とてもたのしいです。

<学びの様子>



【白嶺小学校のお友達と遠隔授業】



【プログラミングに挑戦！楽しいね】



【ペアトークで考えを深めています】



【雪だるま集会での活動の説明】



【クロスカントリークラブ記録会】



【取材にもしっかり対応】

<児童の活躍>

図書館を使った調べ学習コンクール 全国コンクール

奨励賞 6年 北嶋 空河 『クロスカントリースキーの魅力』

